

専門看護師・認定看護師 NEWS

Vol.41

2022年11月発行



独立行政法人 国立病院機構
福岡東医療センター

がん放射線療法看護認定看護師

まつしょう
松 莊

みきこ
美樹子

放射線治療は、手術・薬物療法と並ぶ「がんの3大治療法」の1つです。

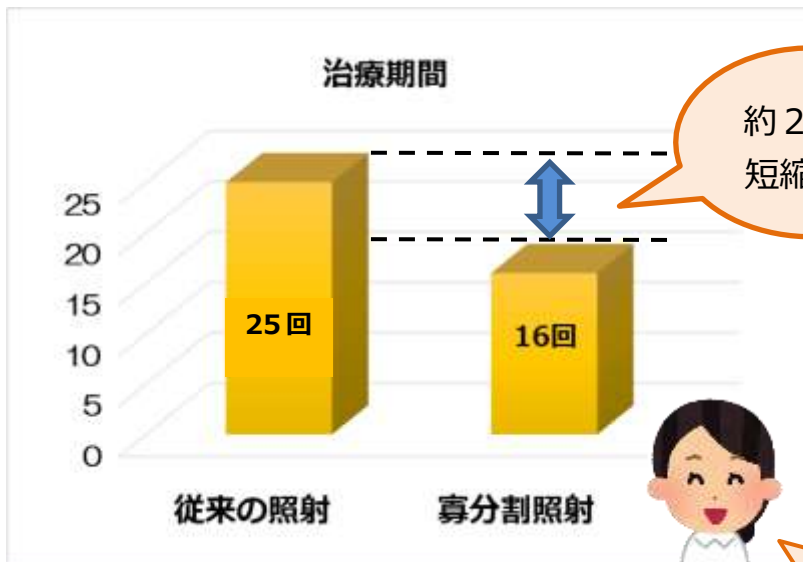
一般的な放射線治療では副作用を抑えるため、数日～数週間に分けて治療します(通常分割照射)。

患者さんの通院負担を減らし、利便性の向上を図る目的として、当院では乳がん術後の放射線治療

に^{かぶんかつしょうしゃ}寡分割照射を取り入れています。

乳がん治療における寡分割照射

乳房温存術後の放射線治療は、乳房内再発を減少させる目的として行われ、温存術後の患者さんでは基本的に全例が適応になります。50Gy (グレイ) を **25回** にわけて行うことが標準的ですが、42.5Gy を **16回** にわけて行う方法が試験的に行われ、治療成績や副作用に差を認めなかったことから、寡分割照射も選択肢の一つとなっています。



☆寡分割照射のメリット

- ・ 時間的余裕ができる
- ・ 通院負担の軽減



お仕事や家事・育児に忙しい世代の方や遠方にお住いの方、ご年配の方にも適した治療です。

治療の適応に関しては、病気の状態や患者様のご希望などを含め、個別にご相談させていただいています。治療内容や副作用について、ご理解・ご納得いただいたうえで治療を進めていきます。不安や疑問等は治療スタッフへご遠慮なくお伝え下さい。

